

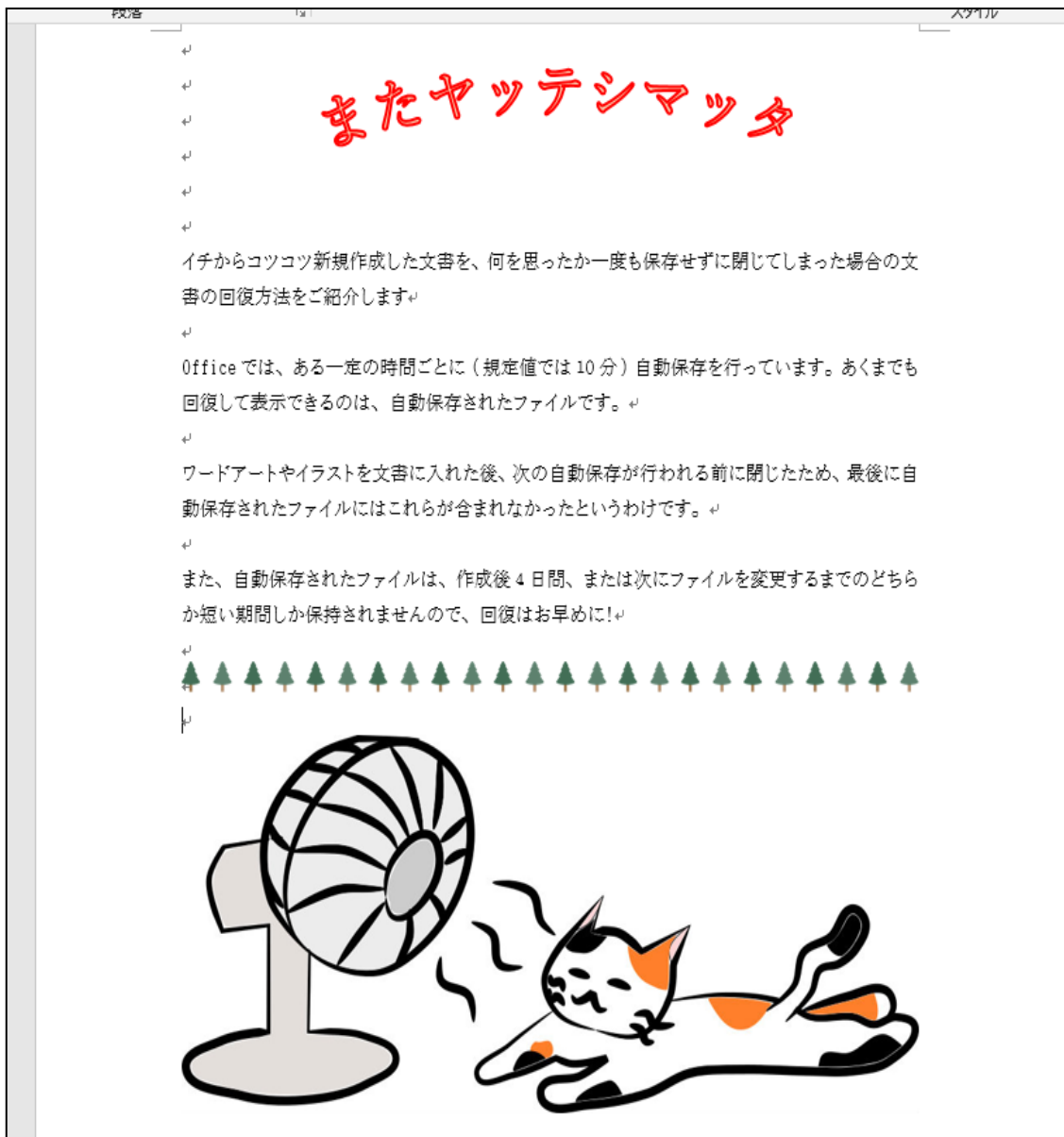


いるか塾資料  
No.2018-10  
発行 2018-6-26



小林利治

## 保存せずに閉じた文書を回復



上図と同じものをワードで作ります。

ワードアート・文字の入力・ラインアート・イラスト (Bing スタンプ) 検索す

## 何を思ったか文書を保存せずに閉じてしまった（大失敗）

Office 2010 では、こういった未保存の文書を、簡単に回復して復活させることができるようになりました

誤って閉じてしまった文書が Word で作られたものなら Word を、Excel なら Excel を、PowerPoint なら PowerPoint を起動します。

[ファイル] タブをクリックし、左側で [情報] を選択します。

[バージョンの管理] から [保存されていないブックの回復] をクリックします。

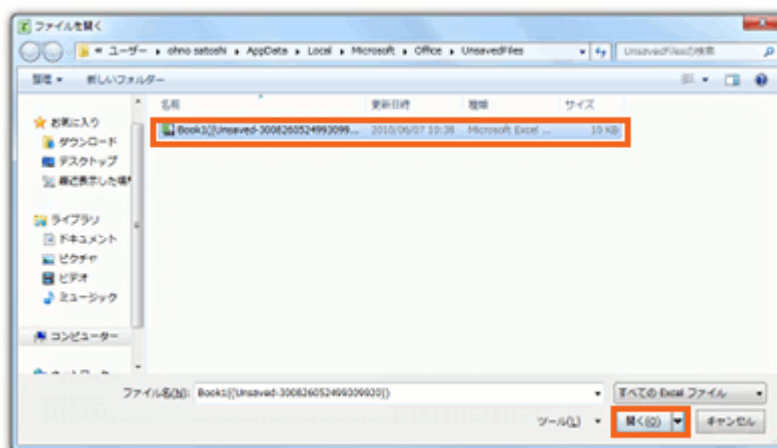
右図は Excel の画面なので [保存されていないブックの回復] となっていますが、Word なら [保存されていない文書の回復]

PowerPoint なら [保存されていないプレゼンテーションの回復] となります。



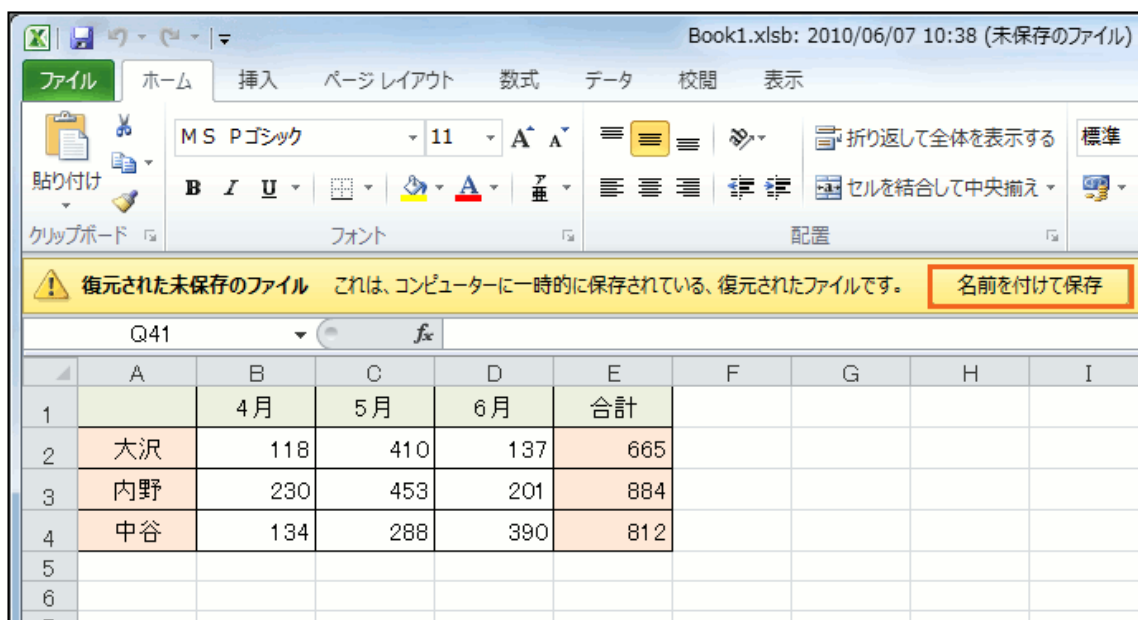
保存されていないファイルが一覧表示されるので、目的のファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。

この時、ファイルがたくさん表示されている場合は、更新日時を頼りにするといいと思います。



保存せずに閉じてしまった文書を復活させることができました！

文書の上に黄色い帯が表示され、キチンと保存されていませんよ～、とりあえずの一時的に保存されている文書なんですよ～と伝えてくれていますので、[名前を付けて保存]をクリックし、もうハラハラしなくていいよう、ちゃんと保存すればOKです！



Office では、ある一定の時間ごとに（規定値では 10 分）自動保存を行っています。

あくまでも回復して表示できるのは、自動保存されたファイルです。

今回の例では、ワードアートやイラストを文書に入れた後、次の自動保存が行われる前に閉じたため、最後に自動保存されたファイルにはこれらが含まれなかったというわけです。また、自動保存されたファイルは、作成後 4 日間、または次にファイルを変更するまでのどちらか短い期間しか保持されませんので、回復はお早めにして下さい。



(例) 保存せずに 右上の X マークで閉じようとする、下図のメッセージが表示します。  
「保存しないをクリックした場合でも、このファイルの最新のコピーが一時的に保存されます」よく注意して行動してください。

